

朝産振第 1535 号
平成 20 年 10 月 22 日

国土交通省道路局長 様

朝日町長 田代 兼二



道路行政についての意見・提案について (提出)

貴職におかれましては、日頃から道路行政に対し、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、先般ご依頼のありました標題の件につきまして、別紙のとおり提出いたしますので、よろしく願いいたします。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

三重県朝日町

道路は、国民生活や社会・経済活動を支える基本的かつ重要な社会資本であります。

経済活動を支える社会資本の着実な整備促進が重要であり、中でも根幹を成す高規格幹線道路や国道は、国民生活や経済活動の重要な役割を担っています。

物流拠点、広域にわたる生活圏及び市町村合併により、移動範囲が拡大している。

このためには、道路網、特に広域幹線道路網を形成する高規格幹線道路や基幹となる国道の整備を図ることは、最も重要な課題と考えています。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

三重県朝日町

○現状

1、現在、当町には国道1号、県道四日市朝日線、旧東海道がほぼ南北に通っており、これらに町道が連結されて道路網を形成しています。また、川越町との境界に沿って新名神高速道路及び北勢バイパスの整備供用開始され、町内にはインターチェンジが設置されました。この高速道と関連するアクセス道となる県道朝日中央線の供用開始によって、当町の交通利便性は更に向上されました。

しかし、一方、日常的に使われる生活道路については、改良などの整備が遅れ気味であり、幹線道路の整備とともに、快適な生活道路の整備を進めることが求められています。

○課題

- 1、国道1号は幹線道路でもあり、また、生活道路でもあることから安全・安心面および環境面に配慮するために拡幅改良の早期完成
- 2、当町の地域活性化および経済発展に欠かせない新名神高速道路のハーフインターチェンジをフルインターチェンジに改良

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

三重県朝日町

1、快適な道路環境の整備

快適な生活道路の整備として、バリアフリー・景観・自然に配慮した整備

2、歩行者に優しい街道づくり

- ① 旧東海道の町並み整備として町屋橋復元の推進、南北の町の入り口にあたる箇所へのゲートサインの設置、名所旧跡案内表示、桜並木をはじめとする街路樹・街路灯の整備など段階的に進め、『町の顔』として歩行者に優しい街道づくりを推進する。
- ② 旧東海道・丘陵地・森林エリアを生かした散策道『(仮称) 東海道朝日回廊』を町民と共同して計画し、ボランティアの協力により段階的に整備を進め、町民だけでなく町を訪れた人にも手軽に町の自然や歴史文化にふれあえる『歩きの間』の提供を目指す。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

三重県朝日町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
1、国道1号改良 2、インターチェンジの改良	1、2車線を4車線に拡幅 2、ハーフインターチェンジをフルインターに改良	1、朝夕の渋滞を解消し、交通円滑化を図る。 2、経済発展に欠かせないインターであり、地域活性化に寄与する。	